

# 日本のお祭り

動画リンク:

[https://youtu.be/-Dlo\\_tHRCAM](https://youtu.be/-Dlo_tHRCAM)

今回は「浅草」を学びながら、日本語を勉強していきましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。

後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に「ふりがな」はありません。

学習にお役立てください。

## 1.お祭りの起源

日本では、各地で地域の風習に基づいて様々なお祭りが開かれています。しかし、なぜお祭りをを行うのかという点に注目してみると、日本人ですらしっかりと理解している人は少ないと思います。

「お祭り」は、日本の文化や伝統、地域社会の絆を象徴する重要な役割を果たしています。お祭りを通じて、人々は先祖から受け継がれた習慣を称え、四季の変わり目を祝い、地域コミュニティの一員としての誇りを感じることができます。

現在における日本のお祭りとは「おいしいものを食べてきれいな花火を眺めるもの」と考えている人も多いですが、大昔は神様たちをお祀り(おまつり)する神聖な行事でした。

日本でのお祭りが始まったのは、大昔から伝わる「岩戸隠れ(いわとがくれ)」の神話にあると考えられています。

岩戸隠れとは、太陽の神様である天照大神が天の岩戸に隠れてしまうことで国中から光が失われ、それをなんとかしようと考えた、たくさんの神様たちが岩戸の前で踊ったり、歌ったり、大宴を繰り広げるというお話です。

たくさんの神様たちは、岩戸の奥に隠れてしまった天照大神の気を引いて外へ出そうと、岩戸の前で盛大な宴を行った結果、ついに天照大神は岩戸から顔を出し、国中に光が戻りました。

この「宴」こそが、現在の日本のお祭りの起源になっていると言われています。

また、「祭」という言葉の語源は「祀る(まつる)」という言葉です。このように、日本のお祭りの始まりには、神様たちが深く関連していると考えられているのです。

以降は、神様へ感謝の気持ちを表すためや、祈りを届けるために日本では、お祭りが行われてきました。

## 2. お祭りという文化の移り変わり

古代では五穀豊穡や平和などを願い、災いが訪れた際には退散を願うなど、お祭りは常に人々の暮らしと密着したものでした。

江戸時代に入る頃には、お祭りは、より「娯楽化」されて神輿や獅子舞・花火といった派手な演出で庶民を中心に、大衆文化として定着していきました。

明治時代に発令された「神仏分離令」によって一旦お祭りが禁止されますが、終戦後には日本のお祭りを復興させようとする動きが盛んになり、それ以後は江戸時代に戻ったかのようにお祭りが行われるようになりました。

## 3. 多様性の中にある神輿という存在

「神事→お祭り→娯楽」へと徐々に変化していった日本のお祭りですが、日本のお祭りの最大の特徴を挙げるとすると「多様性」です。

日本には、地域ごとに異なるいろいろな種類のお祭りが存在します。北は北海道から南は沖縄まで、それぞれの地域が独自の文化や伝統を反映したお祭りを開催しています。例えば、雪深い地域では雪祭りが、海に面した地域では海祭りが行われます。

このように、日本のお祭りは地域の自然や歴史、人々の生活に深く根ざしたものであり、その多様性は日本の文化の豊かさを示しています。

多様性のある日本のお祭りですが、その中でも全国的に共通していることがあります。それは「神輿」の存在です。

「神様が乗るもの」と考えられている神輿は、多様性のある日本のお祭りの中でも一貫して見ることのできる伝統文化です。

日本全国でいろいろな種類のお祭りがあるにもかかわらず、神様の乗り物である神輿だけは一緒なのです。とても不思議に感じますよね。

## 4. 日本のお祭りが持つ文化的な意味

日本のお祭りは、古くから続く伝統的な行事であり、それぞれが特定の歴史的背景や宗教的な意味を持っています。

例えば、春に行われる桜のお祭り「花見」は、自然の美しさを讃え、新たな始まりを祝う意味があります。花見に関する日本語学習動画も公開していますので、是非あとで概要欄をチェックしてみてくださいね。

また、夏の「お盆祭り」は、先祖の霊を迎え、敬うための行事です。

これらのお祭りは、日本人にとって大切な文化的価値を持ち、世代を超えて受け継がれています。

## 5. 古代から続く伝統的なお祭りの例

日本には、数百年、あるいはそれ以上の歴史を持つお祭りが数多く存在します。

例えば、京都の祇園祭(ぎおんまつり)は、平安時代に疫病退散(えきびょうたいさん)を祈願して始まったとされ、今日(こんにち)でも夏の京都を彩る大きなイベントとなっています。

また、奈良の春日若宮おん祭(かすがわかみやおんまつり)は、鎌倉時代に始まったとされ、古式(こしき)ゆかしい行列が有名です。

これらのお祭りは、長い年月を経てもなお、人々に愛され続けており、日本の文化や伝統を今に伝える貴重な財産となっています。

## 6. お祭りの種類

日本のお祭りは、その形態や意味合いにおいて非常に多様です。

宗教的なものから季節を祝うもの、地域固有の特色を持つものまで、様々なお祭りが日本全国で行われています。

### 6-1. 宗教的なお祭り

宗教的なお祭りは、神道や仏教の行事として行われることが多く、神様たちや仏様への感謝と祈りを捧げる目的で開催されます。

例えば、正月の初詣、春と秋のお彼岸などがあります。

これらのお祭りでは、神社や寺で特別な儀式が行われ、多くの人たちが参拝に訪れます。

### 6-2. 季節のお祭り

季節のお祭りは、自然の恵みや季節の変わり目を祝うために行われます。

春には桜を愛でる花見、夏には盆踊りや花火大会、秋には収穫を感謝する秋祭り、冬には雪を楽しむ雪祭りなど、四季折々のお祭りがあります。

これらのお祭りは、日本人の自然に対する敬愛の気持ちや、季節の移り変わりを大切にする心を反映しています。

### 6-3. 地域ごとの特色あるお祭り

日本各地には、その地域ならではの特色を持つお祭りが数多く存在します。

例えば、青森のねぶた祭りや秋田の竿燈(かんとう)まつりは、独特の文化や伝統が色濃く反映されたお祭りとして知られています。また、沖縄のエイサー祭りは、地域の歴史や風土が生んだユニークなお祭りです。

これらのお祭りは、地域の人たちによって大切に守られ、地域のアイデンティティを形成する重要な要素となっています。

## 7. 代表的なお祭りの紹介

日本には数多くのお祭りがありますが、中でも特に有名で、多くの人たちに親しまれているお祭りをいくつか紹介します。

### 7-1. 京都の祇園祭

京都の祇園祭は、日本の三大祭りのひとつにも数えられ、毎年7月(しちがつ)に行われます。日本三大祭りには、他に、大阪の天神祭、東京の神田祭が挙げられます。

京都の祇園祭は、千年以上の歴史を持ち、祇園社(現・八坂神社)の神様を祀るために始まりました。

祇園祭のハイライトは、豪華絢爛な山鉦(やまほこ)巡行です。

約20の山鉦が京都の街中を練り歩き、見る者を古都の雰囲気へと誘います。

これらの山鉦は、精巧な工芸品で飾られ、日本の伝統美を今に伝えています。

### 7-2. 秋田の竿燈まつり

秋田の竿燈まつりは、毎年8月に開催される壮大なお祭りで、青森ねぶた祭、仙台七夕まつりと共に東北三大祭りの1つとなっています。

このお祭りの最大の見どころは、竿燈(かんとう)の技です。

約12メートルの竹竿の先に燈籠(とうろう)を吊り下げ、それを額や手、腰などでバランスを取りながら担ぐ様子は、まさに息をのむ美しさです。

竿燈まつりは、五穀豊穡を祈願し、先祖の霊を慰めるために始まったとされ、今もなお多くの人たちに愛されています。

## 8. その他の有名な日本のお祭り

日本には他にも魅力的なお祭りが数多くあります。

例えば、青森のねぶた祭りや、北海道の雪まつり、徳島の阿波踊りなどが全国的に有名です。

これらのお祭りは、それぞれの地域の文化や歴史が色濃く反映されており、訪れる人たちに忘れられない体験を提供しています。

また、地域によっては小規模ながらもユニークなお祭りが開催されており、地元の人たちにとって大切なイベントとなっています。

## 9.お祭りと縁日の違い

日本の文化において、「お祭り」と「縁日」は密接に関連していますが、それぞれ異なる意味合いを持っています。

これらの違いを理解することで、日本の伝統的な行事や文化に対する理解が深まります。

### 9-1.縁日とは

「縁日」とは、お祭りや特定の宗教的行事が行われる日に、寺社の境内やその周辺で開かれる市(いち)のことを指します。

縁日では、食べ物やおもちゃ、衣類など様々な商品売る屋台が出店され、訪れる人たちに楽しい時間を提供します。

また、金魚すくいや射的などの遊びも楽しめるため、子どもから大人まで幅広い年齢層に人気があります。

### 9-2.食べ物の屋台

食べ物の屋台では、お祭りならではの美味しい食べ物が提供されます。

これらの食べ物は、手軽に食べられることが特徴で、歩きながら楽しむことができます。

#### 9-2-1.たこ焼き、焼きそば

たこ焼きは、小さな丸い形をした、タコが入った生地を焼いたもので、外はカリッと中はトロツとした食感が楽しめます。

焼きそばは、ソースで味付けされた麺に野菜や肉が入った、日本の屋台食の定番です。

これらは、お祭りの屋台では必ずと言っていいほど見かける人気の食べ物です。

#### 9-2-2.かき氷、りんご飴、綿あめ

夏のお祭りでは、かき氷が大人気です。シロップをかけた氷が暑い日にはぴったりで、様々な味が楽しめます。

りんご飴は、りんごを砂糖でコーティングした甘くて美味しいお菓子です。

綿あめは、口の中で溶ける甘さが特徴で、子どもたちに特に人気があります。

### 9-3.遊びの屋台

遊びの屋台では、金魚すくいや射的、ヨーヨー釣りなど、手軽に楽しめるゲームが提供されま  
す。

#### 9-3-1.金魚すくい、射的

金魚すくいは、薄い紙でできたすくいを使って水槽の中の金魚をすくうゲームです。

射的は、銃的を狙い撃つゲームで、景品を獲得することができます。

これらのゲームは、子どもから大人まで幅広い年齢の人たちに楽しまれています。

#### 9-3-2.ヨーヨー釣り

ヨーヨー釣りは、水の入った風船を紙でできた釣り竿で釣り上げるゲームです。

釣り上げたヨーヨーは持ち帰ることができ、子どもたちにとってお祭りの楽しみの一つとなっ  
ています。

これらの屋台は、お祭りや縁日の醍醐味の一つであり、訪れる人たちに喜びと楽しさを提供  
しています。

### 10.お祭りに参加するときのマナーや注意点

外国から日本に訪れてくれたあなたに、楽しい思い出をつくってほしいので、お祭りに参加す  
る際には、いくつかのマナーや注意点を知っておいてほしいです。

まず、お祭りに参加する際には、周囲の人たちや地域の習 慣を尊重することが重要です。

大声で騒いだり、ゴミを散らかしたりしないようにしましょう。

また、神輿を担ぐなどの行事に参加する場合は、指示に従い、安全に注意して行動してくださ  
い。

屋台で買い物をするときには、列に並んで順番を守り、販売者とのやり取りは丁寧に行いまし  
よう。

### 11.日程や場所の調べ方

お祭りの日程や場所は、インターネットや地元の観光案内所で簡単に調べることができます。

特に大きなお祭りの場合は、公式ウェブサイトが設けられていることが多く、詳しいスケジュ  
ールやアクセス方法が掲載されています。

また、SNS やブログをチェックすると、過去に参加した人の体験談やおすすめの見どころを知  
ることができ、事前の情報収集に役立ちます。

## 12.混雑を避ける方法

お祭りは多くの人で賑わいますが、混雑を避けるためには、開催時間の早い段階や終了間際に訪れると良いでしょう。

また、大きなお祭りでは、メインイベント以外にも様々なプログラムが用意されていることが多いので、メインイベントの時間を避けて訪れるのも一つの方法です。

事前にプログラムのスケジュールをチェックし、計画的に行動することが大切です。

## 13.服装や持ち物

まず、歩きやすい靴を選ぶことが重要です。

また、夏場のお祭りでは日焼け対策として帽子や日焼け止め、水分補給のための飲み物を持参すると良いでしょう。

小銭入れがあると便利です。屋台での買い物やゲームの利用に小銭が必要になることが多いからです。さらに、混雑した場所では貴重品の管理にも注意が必要です。

最小限の荷物で行動し、貴重品は身体の近くで保管するようにしましょう。

日本のお祭りは、単に楽しいイベントを超えた、深い文化的意義を持つ行事です。

これらのお祭りを通じて、日本の文化や伝統、地域のコミュニティに触れることは、非常に貴重な体験となります。

お祭りは、日本の歴史や人々の生活、信仰や感謝の心を理解するひとつの入口になるでしょう。

日本のお祭りに参加することで、言葉だけでは伝えきれない日本の精神や価値観を体感することができます。

お祭りは、地域ごとに異なる独自の風習や伝統を持っており、それらを通じて日本の多様性と豊かな文化を学ぶことができます。

また、お祭りは世代を超えて受け継がれてきた文化遺産であり、それを守り、次世代に伝えていくことの重要性を感じる良い機会ともなります。

この動画を通じて、日本のお祭りの魅力を少しでも感じていただけたなら嬉しく思います。

実際にお祭りに参加し、その雰囲気を感じ、地元の人たちとの交流を楽しむことで、日本の文化や伝統の深さをより深く理解することができるでしょう。

「日本のお祭り」は、いかがでしたか？

今後の動画制作に活かしますので、コメント欄から感想いただくと大変嬉しいです。



**Japanese-listening-SUSHI**

